

自由民主党 吉川市議員団団報

Vol.33

発行：自由民主党吉川市議員団

発行責任者：松崎 誠

連絡先：<http://www.jimin-mirai.jp/>
<http://ameblo.jp/jimin-mirai/>

令和元年9月定例会 平成30年度決算認定

歳入 227億3370万2千円
歳出 219億8421万8千円

条例5件・決算認定8件・補正予算4件・契約1件・財産取得1件 すべてにおいて可決

平成30年度決算額については、一般会計歳入総額227億3370万2千円、一般会計歳出総額219億8421万8千円となり、一般会計歳入歳出残高は7億4948万4千円となりました。歳入につきましては、前年度に比べ、50億9952万9千円減となり、歳出につきましては、52億5709万8千円減となっております。歳入の特徴として前年度と比較すると、市税が6144万4千円増加、吉川中学校建設事業の推進など国庫支出金が2億1870万6千円の増加。一方で、新庁舎建設事業や中学校用地取得事業の減に伴い、繰入金は10億4282万9千円、市債は44億8120万円減少しました。

歳出の特徴として前年度と比較すると、庁舎移転に伴うデジタル防災行政無線設備の移転や、吉川中学校への耐震性貯水槽整備などにより、総務費は30億6751万5千円、教育費は21億9056万5千円減少しました。

本市においては、毎年人口が増加傾向であること等から引き続き税収増が見込まれるものの、財政負担を伴う吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業などが継続されます。

主要財務比率について見ると、財政力指数は0.86と、前年度から変動はなかったものの、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は97.3%となっており、前年度から2.9ポイント上昇。実質公債比率は6.5%と、前年度から1.0ポイント上昇した。実質公債費比率は地方公共団体の財政の健全化にする法律による基準値内の値ではあるが経常収支比率は、過去5年間の数値や昨年度の県内市平均を上回る、高い数値であります。これは、公債費増等を要因とした経常経費の増加等により、財政の自由度が狭まっていることを示しています。今後も、後年度負担に留意し、財政構造の弾力性に注意しながら、持続可能な財政運営が求められています。

令和元年度吉川市一般会計補正予算 第2号 参議院議員補欠選挙委託費交付金

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2294万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ255億9399万1千円となりました。

令和元年度吉川市一般会計補正予算 第3号 9月補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億6152万1千円を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ257億5551万2千円となりました。

令和元年度一般会計補正予算



市議会議員選挙執行事業
吉川美南地区期日前投票所開設費
「駅前商業施設内」

320万5千円



道路管理事業 土木費
吉川美南駅エレベーター2基修繕費

91万9千円



交通安全施設整備事業 工事請負費
交差点安全対策「ゾーン30」等

1117万5千円



道路改良事業 道路改良工事費
市道2-422側溝整備費等「栄町3区内」

1003万2千円



学校管理運営事業 学校施設修繕費
美南小学校体育館前校舎1階
外部柱25箇所

247万5千円



学校管理運営事業 学校施設修繕費
旭小学校バックネット修繕

23万1275円



学校管理運営事業 学校施設修繕費
吉川小学校放送設備

約170万3千円



学校管理運営事業 学校施設修繕費
北谷小学校放送設備

約100万円

交通インフラについて函館市・伊達市を行政視察しました

陣川あさひ町会バス(Jバス)について

函館市陣川地区の町会は、病院、商業、行政施設などへの移動手段を確保するため平成22年にバス路線希望調査を実施し、町会の半数が必要との調査結果を踏まえて市に対して路線バス開設を要請しました。その後、市とバス会社と町会との3者協議を重ね、平成24年4月に町会が運営主体となる運行委託契約をバス事業者と締結し、行政補助を受けずに実証実験「陣川あさひ町会(Jバス)」を開始しました。地域交通の維持するモデルケースとして位置づけ、車内広告募集等により運行収入の不足分を確保している。

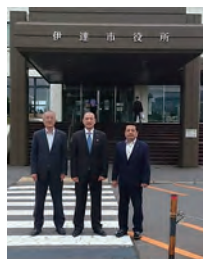
市とバス事業者が後方支援に徹したことから地域のバスという意識が醸成され、当初の利用者数(一日当たり)19人から平成29年には33人まで増えています。



写真提供：函館市ホームページより

伊達市・愛のりタクシーについて

北海道では、土地の広さや冬の寒さなどから自家用車の保有率・利用率が高く、バスなどの公共交通は衰退傾向にあります。市でも同様の傾向にあり、高齢化が急速に進行している中、生活の足の確保が必要で車を運転しない方々が負担が少なく安心して利用できる新しい交通手段として、会員・予約制の乗り合いタクシー事業を推進。市の「愛のりタクシー」は、事前に会員登録(1828人)をした60歳以上の方が対象になり平成30年の年間利用者数は11,456人になります。事業主体である商工会議所に市から補助金を支出し、商工会議所から運行業者である市内タクシー会社2社に運行経費17,995千円を助成しています。



写真提供：伊達市ホームページより



松崎 誠 議員 まちの住みよさを高める

市民農園の再整備事業において業務委託をした経緯は、また、業務の目的、基本構想のテーマ、基本方針は、そして、導入する主な機能は、隣接予定地の埼玉型ほ場整備事業との関わりについて伺う。



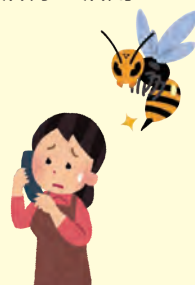
答 産業振興部長

地域の農業振興及び地域活性化に資する施設を目指した市民農園の再整備を確保しています。導入機能、事業内容及び民間活力の活用を含めた事業手法の検討について今後必要となる可能性調査、資料作成等を行うことを目的としています。

スズメバチの駆除については、蜂の巣が出来たから駆除してほしいとの相談が多く寄せられているが、駆除件数、相談内容、対応等について伺う。

答 市民生活部長

蜂の巣の駆除については、土地建物所有者が除去することが基本であり、当市では埼玉県ペストコントロール協会を紹介しています。



加藤 克明 議員 総合運動公園の進捗について

平成30年度議会一般質問で、総合運動公園について「研究のための検討をする」と御答弁をいただきました。その後の令和元年度では、どのような取り組みをされましたか。

答 健康長寿部長

令和元年度では、整備に必要な法的手続きと、それに要する期間について調査しています。

市内コンビニエンスストアなどで市税の徴収を取り扱っていただく事により収納率がアップしました。然しながら、まだ、一部のコンビニエンスストアでは市民税や軽自動車税など取り扱えないものもある。他自治体では取り扱っているのに、なぜ、吉川市では取り扱えないのか。収納率アップのため、市民の利便性を確保するためにも市内全てのコンビニエンスストアで収納が出来るように対応されては如何か。

答 総務部長

市が委託している収納代行業者と、コンビニエンスストア側との協議で合意に至っていないこと、また、当該コンビニエンスストアを取り扱っている他の収納代行業者は手数料が市契約額より高い現状にあることや、変更した場合、システム改修が必要になること等からコスト面で課題があります。今後も引き続き収納代行業者への働きかけは行ってまいります。現時点では、導入時の目的を概ね達成されているものと考えおり、市内全ての収納は困難な状況と考えております。



松崎 誠
自由民主党吉川市議員団団長
議会運営委員長
文教福祉委員
江戸川水防事務組合議会副議長
4期目



加藤 克明
建設生活副委員長
議会広報副委員長
吉川松伏消防組合議会議員
2期目



中嶋 通治
吉川市議会議員
総務水道委員
議会広報委員
東埼玉資源環境組合副議長
3期目

議会を傍聴に来ませんか?

令和元年12月定例会の会期日程(案)
12月2日(月)～12月16日(月)

※会期日程は、開会日に正式に決定されます。
※本会議：午前10時から、庁舎3階議場で開きます。
※傍聴席は先着順で限りがございます。お早めにご来場ください。